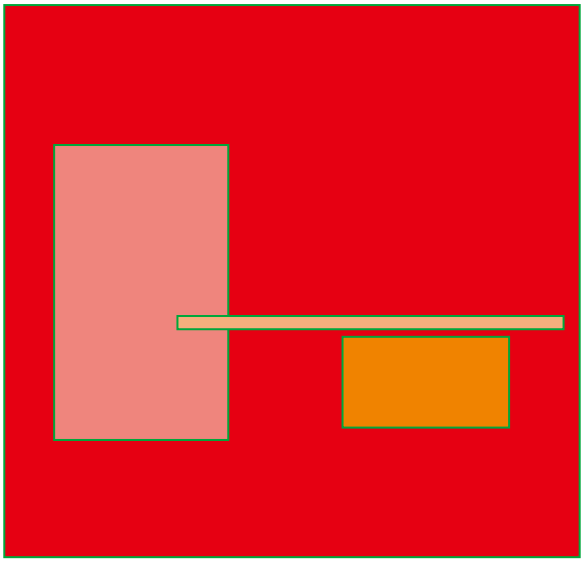
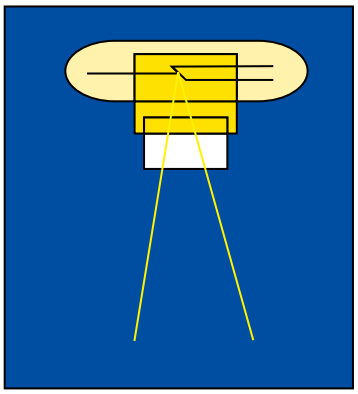
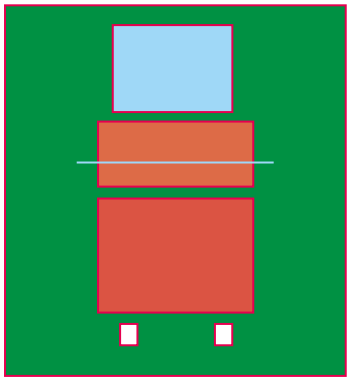
三重県診療放射線技師会誌

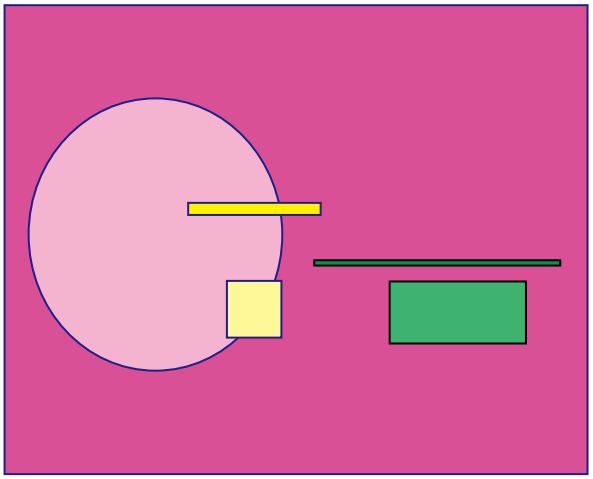
The journal of the Mie
Association of Radiological Technologists

web版









273号 2014.10 vol.65 No.1

一般社団法人 三重県診療放射線技師会

目　次

CONTNETS

【巻頭言】.....4
【平成26・27年度　三重県診療放射線技師会】.....5
役員紹介
役員組織図
新役員紹介
三重県診療放射線技師会 学術講演会アンケート.....9
【研究会活動報告】.....12
平成26年度　三重県放射線治療研究会
第76回　北勢消化器画像研究会
第52回　南勢地区消化管撮影技術研究会
平成26年度　三重消化器画像研究会
第21回　三重県放射線技師超音波研究会
第77回　北勢消化器画像研究会
【開催案内】.....27
第31回　三重乳腺勉強会
第53回　南勢消化器撮影技術研究会
第11回　全国X線撮影技術読影研究会
【議事録】.....31
第64回　定期総会議事録
平成26年度　第1回　理事会議事録
平成26年度　第2回　理事会議事録
【編集後記】.....37

公益社団法人　**日本診療放射線技師会**
〒105-6131　東京都港区浜松町2丁目4番1号
世界貿易センタービル31F
TEL. (03)5405-3612
FAX. (03)5405-3613
H.P. : http://www.jart.p/

一般社団法人　**三重県診療放射線技師会**
〒514-0004　津市栄町3丁目269　富士屋ビル2F
TEL/FAX (059)225-1491
H.P. : http://mieart.jp/
e-mail : contact@mieart.jp
郵便振替　00800-5-15152
銀　　行　百五銀行津駅前支店
普通預金口座番号　0203779

公益社団法人　日本診療放射線技師会

綱　　要

1．わたしたちは、医療を求める人びとに奉仕します。
We will render our services to those to need of health care.

1．わたしたちは、チーム医療の一員として行動します。
We will act as individual members of a health care team

1．わたしたちは、専門分野の責任をまっとうします。
We will perform our duties in our field of specialty.

1．わたしたちは、人びとの利益のために、常に学習します。
We will continue to study for the benefit of mankind.

1．わたしたちは、インフォームド・コンセントを尊重し、実践します。
We will respect and practice the policy of informed consent.

【巻頭言】

一般社団法人　三重県診療放射線技師会

会長　山田 隆憲

平成26年6月より（一般社団法人）三重県診療放射線技師会会長に就任し、引き続き2期目を務めさせていただきます山田隆憲です。

東日本大震災が平成23年3月11日に発生して死者及び行方不明者が20000人を超える被害が発生されています。福島県では原発事故が同時に発生いたしまして現在でも復旧もままならない状態です。日本診療放射線技師会及び三重県診療放射線技師会といたしましては、いち早く福島県にてサーベイ（住民・土壌・ご遺体・診療所）活動を実施してまいりました。

本年も日本診療放射線技師会・各都道府県診療放射線技師会では平成26年5月13日に環境省と「平成26年度原子力災害影響等調査事業（福島県外における住民の個人被ばく線量把握事業）委託業務」の委託契約を締結し第74回定期総会にて、追加事業として承認されました。引き続き各都道府県診療放射線技師会も協力し、国民の不安解消にむけ継続的に活動しなければならないと感じております。

次に、本年に国会を通過いたしました診療放射線技師法の一部改正についてです。この度の改正点を要約いたしますと、「診療放射線技師が、病院又は診療所以外の場所において、健康診断として胸部X線撮影のみを行う場合に限り、医師又は歯科医師の立会いがなくても実施できる」・「医師または歯科医師の指示の下、診療の補助として、磁気共鳴画像診断装置その他の画像による診断を行うための装置」として、核医学診断装置を追加する・造影剤の血管内投与に関する業務（CT検査、MRI検査等において医師又は看護師により確保された静脈路に造影剤を接続すること及び造影剤自動注入器を用いた造影剤投与を行うこと）・ 造影剤投与終了後の静脈路の抜針及び止血を行うこと・下部消化管検査に関する業務（下部消化管検査に際して、カテーテル挿入部（肛門）を確認の上、肛門よりカテーテルを挿入すること）・肛門より挿入したカテーテルより、造影剤及び空気の注入を行うこと・画像誘導放射線治療（image-guided radiotherapy：IGRT）に関する業務（画像誘導放射線治療に際して、カテーテル挿入部（肛門）を確認の上、肛門よりカテーテルを挿入すること・肛門より挿入したカテーテルより、空気の吸引を行うこと）が新たに診療放射線技師の業として追加されます。我々の業務は国民の皆様に質の高い医療を提供するうえで常に変化しております。それは機器の進歩による新たな業務以外にも、国民から期待される職能範囲の拡大においても同様です。こういった変化に対して三重県診療放射線技師会といたしましても会員の皆様に十分な情報提供と職能研鑽の場を整えてまいりたいと考えております。従いまして、三重県診療放射線技師会の方針といたしましては1.日本診療放射線技師会とも密に連携を取りながら活動をすること　2.他職能団体との交流を増やし、国民に対して診療放射線技師の認知・地位向上のために努力すること　3.学術活動・教育事業・大会研究会の集参・福利厚生活動に積極的に力を注ぐことを念頭に活動していく次第です。これらは当然、国民の皆様のためであり我々診療放射線技師のためでもあります。これからも会員の皆様・賛助会員の皆様におかれましては変わらぬご協力の程よろしくお願い申し上げます。

【平成26・27年度　三重県診療放射線技師会】

役員紹介

会長　山田 隆憲

副会長　中西 左登志

副会長　界外 忠之

業務理事　村上 謙二

業務理事　石河 真人

業務理事　浅沼 源示

業務理事　山田 剛

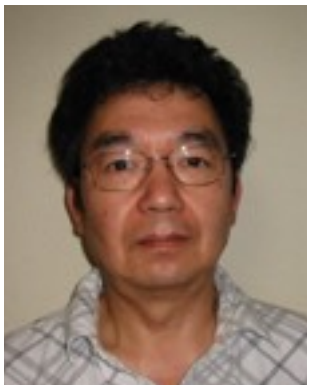
理事　大川 和穂

理事　落合 哲也

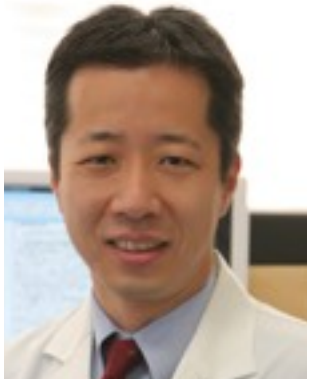
理事　山本 憲一

理事　白藤 裕敏

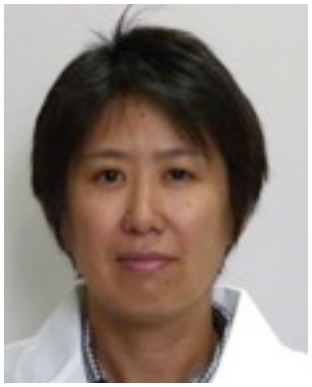
理事　奥村 尚人



理事　北林 厚生



理事　伊藤 守弘



理事　武藤 裕衣

理事　難波 一能

理事　森田 英稔

理事　丹羽 正厳

監事　荻野 豊

監事　牧 浩昭

役員組織図

会　長　山田 隆憲
（鈴鹿回生病院）

副会長　中西 左登志
（鈴鹿医療科学大学）
界外 忠之
（岡波総合病院）

監　事　荻野　豊
（鈴鹿中央総合病院）
牧　浩昭
（三重大学医学部附属病院）
山中 利之
（五十鈴監査法人統括 公認会計士）

庶　務

業務理事　村上 謙二（伊賀保健所）
理　　事　大川 和穂（尾鷲総合病院）
落合 哲也（鈴鹿中央総合病院）

編　集（HP担当含）

業務理事　浅沼 源示（三重大学医学部附属病院）
理　　事　山本 憲一（松阪中央総合病院）
白藤 裕敏（榊原温泉病院）

企画・会計

業務理事　石河 真人（伊賀保健所）
理　　事　奥村 尚人（県立総合医療センター）
北林 厚生（遠山病院）

学術・教育

業務理事　山田　剛（三重大学医学部附属病院）
理　　事　伊藤 守弘（中部大学）
武藤 裕衣（鈴鹿医療科学大学）
難波 一能（とうかい整形外科かわげ）
森田 英稔（済生会松阪総合病院）
丹羽 正厳（市立四日市病院）

参　与
（日本診療放射線技師会教育委員）　北岡 ひとみ（鈴鹿医療科学大学）

（アドバイザー）
上之郷 正実 (済生会松阪総合病院)　中野 博文 (名張市立病院)　落合 嘉平 (鈴鹿回生病院)
吉田 亘孝 (四日市羽津医療センター)　藤井 良宏 (市立四日市病院)　西川　孝 (四日市健診クリニック)
浮田 和幸　(市立伊勢総合病院)　星野 吉昭（県立志摩病院）中島　誠 (主体会病院)

（学術教育担当）
近藤 偲瑞子(桑名東医療センター)　園田 伸一 (桑名東医療センター)　磯部 好孝（四日市羽津医療センター）
安本 浩二（県立総合医療センター）　松浦 佳苗 (鈴鹿医療科学大学)　水井 雅人 (鈴鹿回生病院)
落合 三奈恵 (三重大学医学部附属病院)　山畑 経博 (三重大学医学部附属病院)

新役員紹介

理事　白藤 裕敏

今年度から理事に就任させていただくことになりました。
榊原温泉病院の白藤と申します。何分初めてで分からないことが多いですが、
民間病院として、スタッフの少ない病院が参加できるような技師会を考えていきたいと思います。また、津市榊原研究会の会長も兼任してますのでこちらの方もよろしくお願いします。

理事　大川 和穂

この度、新しく理事に就任させていただく事になりました尾鷲総合病院の大川 和穂です。
ここ数年間、勉強会への参加も少なくなっておりましたが、これを機に少しでも多く参加することができればと考えております。
初めてのことですので右も左もわからない状態ですが、先輩理事の方々のご指導を仰ぎながら、微力ではございますが、少しでも役に立てるよう頑張りたいと思いますので、皆様のご指導・ご協力よろしくお願いいたします。

監事　荻野 豊
久しぶりの登場です。監事の荻野です。
はなはだ微力ですが、三重県技師会の一層の発展と会員活動が盛況でより良き場を提供できるように励む所存です。
つきましては、技師会共々ご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

三重県診療放射線技師会 学術講演会アンケート

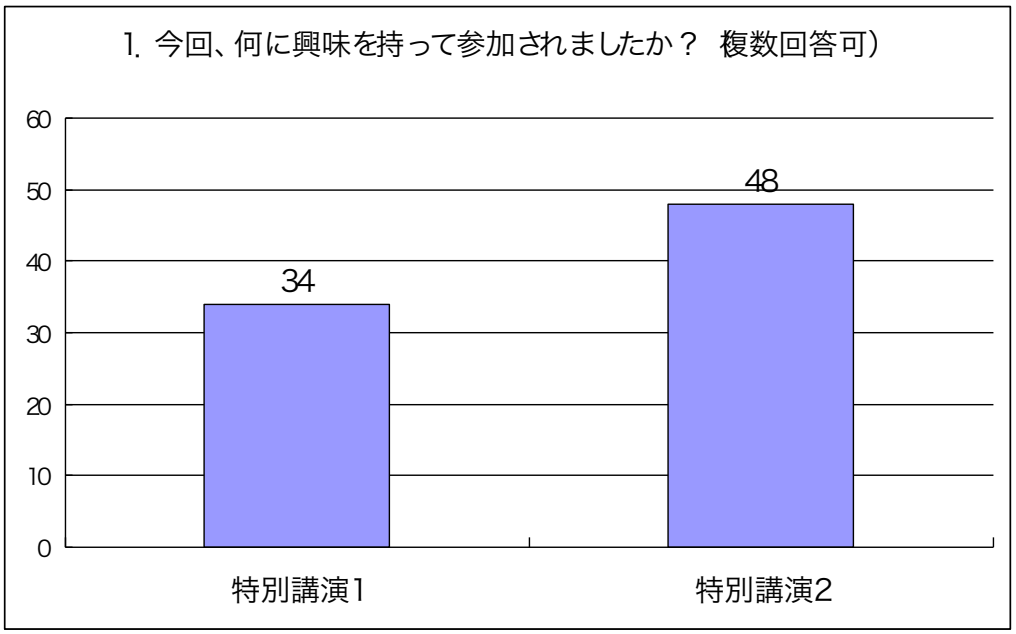
平成26年5月31日

有効回答数: 52 （技師：52　学生：0　無記名：3）

1.　今回、何に興味を持って参加されましたか？（複数回答可）

特別講演 1　：34　「 心臓 ^{15}O-H_2O PET 検査の初期経験」

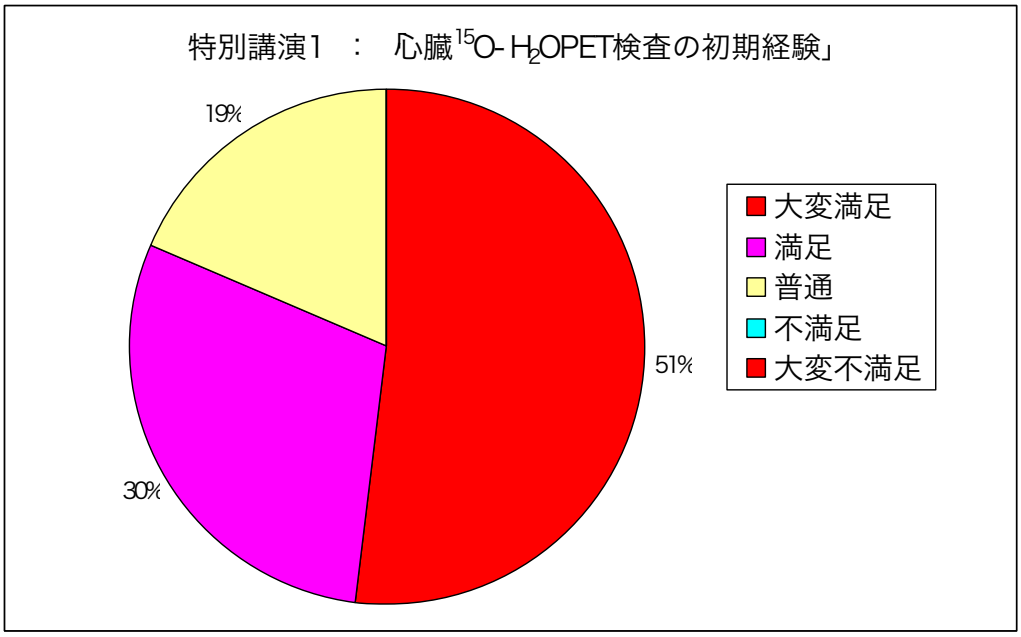
特別講演 2　：48　「 顎口腔領域における画像診断」



2.　お聞きになり、内容はどうでしたか？

・特別講演 1　心臓 ^{15}O-H_2O PET 検査の初期経験

□大変満足：28　□満足：16　□普通：10　□不満足：0　□大変不満足：0

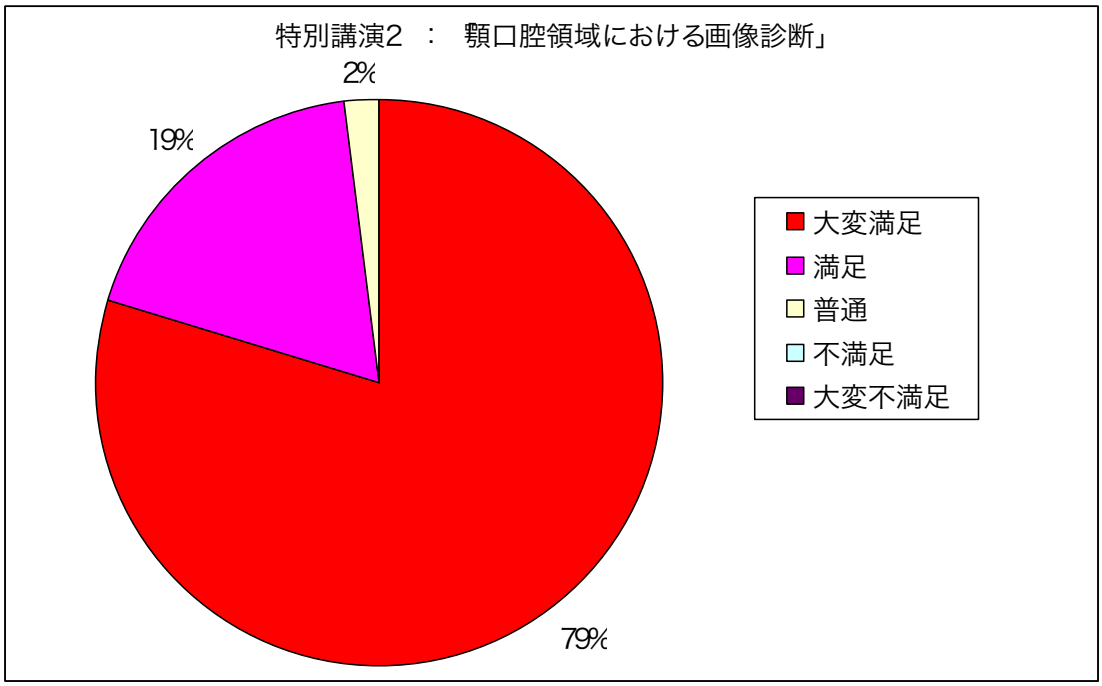


その理由

・MR との比較や最新の情報がきけて良かったです
・仕事上未経験だったから
・かなり専門的でむずかしかった
・新しい話題なので
・自分の病院に RI がなくなじみのない分野だったので
・携わっていないので

・特別講演 2：顎口腔領域における画像診断

□大変満足：43　□満足：10　□普通：1　□不満足：0　□大変不満足：0



その理由

・歯科関係を深く知る事ができました
・どういう部分を画像で確認しているのかわかりやすかったです。
・普段知らずに撮っていた事が多くとても勉強になりました
・あらためて考えなおすいい講演でした
・興味深く面白かった
・とても分かりやすかったです
・知らない知識が多くあり勉強になった
・画像の重要性を認識しました
・口腔領域の話を詳しく聞いたことがなかったので、とても勉強になった。
・普段なじみがないが必要な分野だったので

3.　今回の学術講演会について、何かご意見ご感想があればお聞かせ下さい。

Dr サイドからの講演、なにを画像からもとめているか、見たいのかわかりよかった
大変勉強になりました
普段知ることができない画像診断のことが知ることができ、今後の参考になりました。
大変勉強になりました

4. 今後、学術講演会で、とりあげてほしい演題などありましたらお書き下さい。

・放射線治療に関すること
・DAT スキャン
・別の分野でこのようなものをどんどんしてほしい
・CTC
・救急医療における画像診断の役割(症例画像の紹介など)
・他職種の業務内容と放技師に期待すること。
・学会発表の手順や作法、論文に至るまでの基礎的なこと
・エコーについて

以上

【研究会活動報告】
平成26年度　三重県放射線治療研究会

代表世話人　内藤 雅之

場　所　：三重大学医学部附属病院　1 階　放射線治療室
日　時　：平成 26 年 6 月 21 日（土）第一部 9:00～13:30　第二部 13:30～18:00
参加人数：40 名
内　容　：電子線相互校正講習会
名古屋大学大学院医学研究科
医療技術学専攻　医用量子科学講座 小口　宏　先生

昨年開催した放射線治療研究会の講演に続き、名古屋大学大学院医学研究科小口宏先生をお招きして、講演の第 2 弾として実機を用いた電子線用電離箱線量計の値付け実習を企画いたしました。専門技師認定機構では昨年より放射線技術の向上を目指して実習形式の講習会を企画、実施しています。放射線治療専門放射線技師認定機構の理事でもある小口先生の持ち込み企画で、三重県でも開催を企画するように依頼を頂き実現に至りました。

さて、実習には、県内施設を中心に募集を募りましたところ、県外も含めて多くの参加希望を頂きました。三重大の施設の状況を考慮し、午前と午後に講習会を 2 班に分けて各 15 名程度の募集に制限をさせて頂きました。本来であれば多くの方に実習に参加して技術習得をして頂きたいのですが、人数が多いと充分に実習参加が出来ないと考えてのことだとご理解下さい。

電離箱線量計は、毎年校正にだして新しい水吸収線量校正定数の値付けを行います。しかし電子線用の平行平板形線量計は、個体差による誤差が大きいとされていることと、校正を依頼できない線量計もあることから、日本医学物理学会編「外部放射線治療における水吸収線量の標準計測法」では、自施設での値付けを推奨しています。今回の実習では、県内 4 施設の平行平板形線量計に対して値付けを行いました。参加者全員で実際に線量計の設置方法や測定方法を確認しながら、データ取りを行い、収集したデータを小口先生が準備されたエクセルシートに入力して値を導きだす形で行いました。

測定には、準備を含めて 3 時間ほどのデータ収集のあと、エクセルシートの解説を聞きながら 1 時間程かけて実際に値を出す形で行いました。参加した方は、普段の業務で慣れていることもあり、手際よく測定が進んだことから、普段行うことの出来ないフィールド線量計を用いた相互校正の実施方法を学んでいました。導きだされた値と医用原子力研究振興財団から提供された校正定数と比較してどのくらいの誤差があるかなど、参加者が真剣に取り組んでいました。

【相互校正講習会に参加して 1】　三重県立総合医療センター　後藤　昌希

2014 年 6 月 21 日に三重大学医学部付属病院にて、開催された「平成 26 年度三重県放射線治療研究会第 1 回相互校正講習会」に参加させていただいたので報告します。

2012 年に外部放射線治療における標準計測法が改定され、その中でも大幅に変更された項目で、自施設の線量計を持ちこみ、電子線の相互校正計測を実際のプロトコール（標準計測法 12）に則りおこないました。

計測準備においては、通常の吸収線量の測定同様のセットアップ手順でおこない、セットアップ誤差を少なくするために、水平器を用いて水槽を設置し、線量計を付け替えるだけで正確に実効中心にセット出来る相互校正専用の線量計ホルダーを使用して行った。（今回の測定では 90 度方向からの照射）

実際の計測においては、k_S、k_{pol}、k_{TP} を測定から求め、また R50 より k_Q および $k_{Q,Qint}$ を算出し、その後 $N_{D,wQcross}$（水吸収線量校正定数比）を算出した。また、この $N_{D,wQcross}$（水吸収線量校正定数比）を使用し、6MeV と 9MeV のそれぞれの校正深において吸収線量を求めると、当院の線量計（PPC40）では、標準計測法 12 の方法で求めたものに近い結果が得られた。

今回の実習形式の講習会では、教科書を読むだけでは理解しがたいことが多いが、実際に体験することにより、より深く理解することができた。このような実際にファントムを使って行う体験型の勉強会は初めてだったので、私のような放射線治療の経験年数が浅い者にも理解しやすい講習会であった。

最後になりますが、小口先生をはじめ、加茂前先生、今回の勉強会のためにお忙しい中、いろいろと準備をしていただいた、三重大学医学部附属病院、松阪中央総合病院のスタッフの皆様一同に深くお礼を申しあげます。

【第 1 回相互校正講習会に参加して】　市立伊勢総合病院　西川晃正

平成 26 年 6 月 21 日に三重大学医学部附属病院で開催されました三重県放射線治療研究会第 1 回相互校正講習会に参加しての感想と内容を報告させていただきます。

当院で使用している電子線校正用の電離箱は標準計測法 12 で値付けされているものですが、不確定度低減のためには相互校正の必要があります。しかし線量計を 1 台しか所有していないため当院単独での相互校正はできません。そのため、今回の講習会で当院の電離箱線量計の校正の機会が恵まれたのは幸いでした。

講習会は午前と午後に分かれ、午前は垂直方向にビームを照射して計測を行い、午後は水平方向で計測する形式でした。我々は午前の部です。名古屋大学の小口宏先生が講師で、設置方法から見せていただきました。使用された水ファントムはメーカー貸出との事でしたが、水面を 0.1ｍｍの精度で一定に自動管理し、ホルダーにはめるだけで 2 つの円筒形電離箱と平面電離箱の実行中心が揃う、相互校正に大変便利な構造でした。相互校正では非常に小さな電離量の比を算出するため、電離箱を取り換える度に本来ならば神経を使って設置状態を確認しなければならず、このファントムのおかげで随分と効率的に作業が進める事ができました。

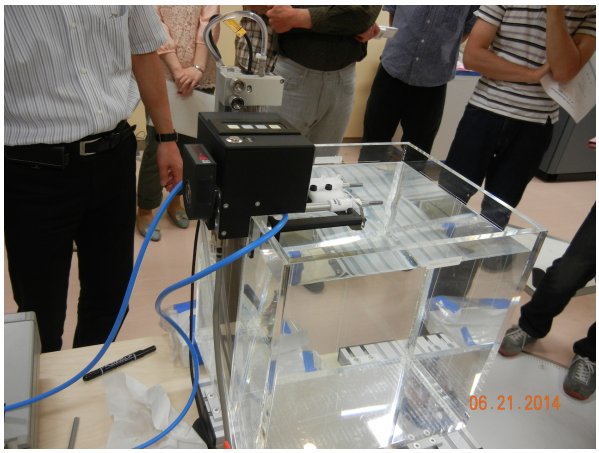
電離箱の水平方向の中心出しの方法としてコリメータを利用しての方法やレーザーと電離箱先端を合わせてから内腔の距離を移動させる方法を見せていただきました。SSD のセットアップでは水面に紙を浮かべ、フロントポインタに接するよう

調整し、フロントポインタ中心に軽くクルクル回る位が丁度良い状態と目の前で見せていただきました。実習形式ならではの感覚的に理解できる良い経験でした。

実際の計測の際、自施設では電圧を変更したら盲目的に5分ほど安定するのを待ってから計測しているのですが、本会のすぐに計測し始め、得られる値が安定していくのを確認して計測値を採用する手法は合理的だと思いました。

相互校正で得られた値は標準計測法の値と約3%程度差が見られました。「自施設で何度か相互校正を行い、値が収束すれば得られた値は妥当と判断できる。」と総括をいただきました。実際どう運用していくかは今後の課題ですが得る所が多い研究会でした。

最後になりますが、今回のような機会を与えていただいた運営の皆様に御礼を申し上げます。ありがとうございました。



今回小口先生が準備してくださったエクセルシートは、自施設のデータを用いることですぐに相互校正が出来るようになっていますので、講習会終了後は自施設での相互校正を実施して技術の習得をお願いしたいと思います。また、本研究会では今後ともこのような実習形式の講習会を定期的に開催したいと考えています。今年度より放射線治療専門放射線技師認定機構の認定単位が通年で1カウント付与されますので資格維持はもちろん、これから認定取得を目指すための講習会として是非共活用頂ければと思います。

最後になりますが、参加して頂いた諸先生、技術スタッフとして協力頂いた名古屋大学大学院加茂前先生、松阪中央総合病院姫子松先生、井上先生、そして朝早くから準備をしてくださいました三重大学医学部附属病院スタッフ諸君に、この場を借りて厚く御礼申し上げ、活動報告と致します。誠に有り難うございました。

第76回　北勢消化器画像研究会

代表世話人　町田 良典

場　所　：鈴鹿回生病院　研修棟３階講義室
日　時　：平成 26 年 6 月 21 日（土）
参加人数：14 名
内　容　：

1）レクチャー　『 胃炎とＸ線画像（Ｘ線検診画像から） 』
講師：鈴鹿回生病院放射線科　　福田 剛史

2）シェーマに挑戦（休憩時間を利用し、シェーマの描写）
症例提示：鈴鹿回生病院放射線科　　町田 良典

3）画像評価『 鈴鹿回生病院検診センターの画像評価 』
症例提示：鈴鹿回生病院放射線科　　丹羽 健二

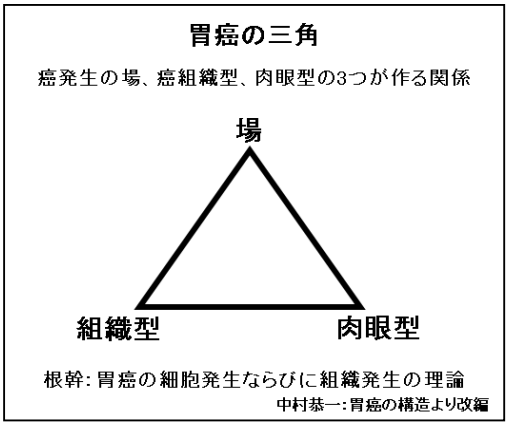
4）症例検討
症例提示：鈴鹿回生病院放射線科　　町田 良典

以下、座長集約

レクチャー　『 胃炎とＸ線画像（Ｘ線検診画像から） 』

胃癌の三角

胃癌の三角とは、癌の “発生の場”と“組織型”と“肉眼型”の要素が作る関係を指す。これら３つの要素は互いに密接な関係にあり、それぞれを頂点とした三角形を形成していることから、その名称が付けられた。通常、診断の過程においての胃癌の診断は、X 線、内視鏡、生検組織、の検査でなされているが、日常診療において常に診断に適している資料が得られるとは限らない。例えば、生検組織採取が適切であるとは限らず、判読できない場合や判読に迷う場合がある。そのような場合、胃癌の三角の観点から病変を再検討することによって、判読の結果をある程度修正することができる。

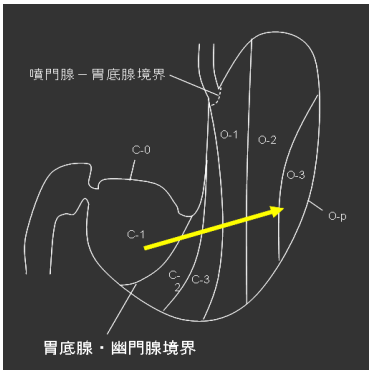


また、1 つの検査によって得られた良質の資料による診断を基準として、他の良質でない資料の所見を胃癌の三角にて補い、より確かな診断へ導くことが可能となる。資料の所見から得られた診断と胃癌の三角からみた診断との間に矛盾が生じた場合には、病変をよりよく描出している所見に焦点を合わせて再検査することができる。以上より、胃癌の三角は胃癌臨床診断の安全装置の役割を果たす。

F 境界線

「腸上皮化生のない胃底腺粘膜を限界づける線」をＦ境界線、「胃底腺粘膜が巣状に出現する領域を限界づける線」をｆ境界線、と定義されている。十二指腸側のＦ境界線は幽門腺粘膜と胃底腺粘膜の境界線、口側のＦ境界線は胃底腺粘膜と噴門線粘膜の境界線である。これら胃固有の粘膜には、腸上皮化生が発生する。腸上皮化生の発生様式は、はじめは小弯側の幽門腺粘膜、ついで、噴門腺粘膜に腸上皮化生腺管が巣状に発生する。腸上皮化生巣は幽門前庭部および噴門部で増加し、やがて小弯側

から前後壁にある胃底腺粘膜にも発生するようになる。腸上皮化生の程度は加齢とともに著明となっていく傾向がある。腸上皮化生巣が胃全体の粘膜に波及するようになると、胃体部は腸上皮化生粘膜の中に巣状に散在する胃底腺粘膜といった状態になる。F 境界腺は加齢とともに腸上皮化生によって胃上部大弯側へ移動する。



F 境界線の肉眼的同定

粘膜ヒダを指標にすることで、おおよそのF 境界線の位置を知ることができる。切除胃におけるF境界線は粘膜ヒダが消失するところを結んだ線と一致する。胃粘膜の萎縮は、F 境界線の型から通常型と萎縮型に分けられる。

X 線的なF境界線の同定

適当な空気量で撮影された二重造影像で描出された粘膜ヒダを指標に行う。すなわち、写し出された粘膜ヒダの途切れた端を結んだ線がX線なF境界線に相当する。

萎縮粘膜とは本来ある胃固有粘膜の質、量が共に減少し、それに代わって他の質の粘膜が現れることである。実際には、胃粘膜を構成する上皮（幽門腺、胃低腺、噴門腺）が時間の経過と共に減少し、それに代わって腸上皮化生、リンパ濾胞が増えていくことである。萎縮のない胃はヒダが胃全体にみられ、萎縮が軽度～中程度の胃では大弯側にヒダがあり胃の中では胃小区が見られ、萎縮が高度になるとヒダは見られなくなり、胃小区もほとんど判別がつかなくなりスリガラス状になってくる。

Hp陰性　粘膜	Hp陽性　粘膜
平滑（滑らか）Smooth	粗い(粗造)　Rough
均一で微細な粘膜像（ベルベット・シルク様）	多数の細かい顆粒様ないし結節様の隆起
微細網目模様がみえることがある	多数の不整形の淡いバリウムの溜まりと低い顆粒様、または不整形の隆起の混在（フリース様粘膜像）
Hp陰性　襞	**Hp陽性　襞**
細い・背が低い	太い、丈が高い
立ち上がりなだらか	立ち上がり急峻
側面変形が平滑	側面変形が平滑でない
やわらかい＝進展して細くなる	硬い＝進展しても細くなりにくい

シェーマに挑戦（休憩時間を利用し、シェーマの描写）

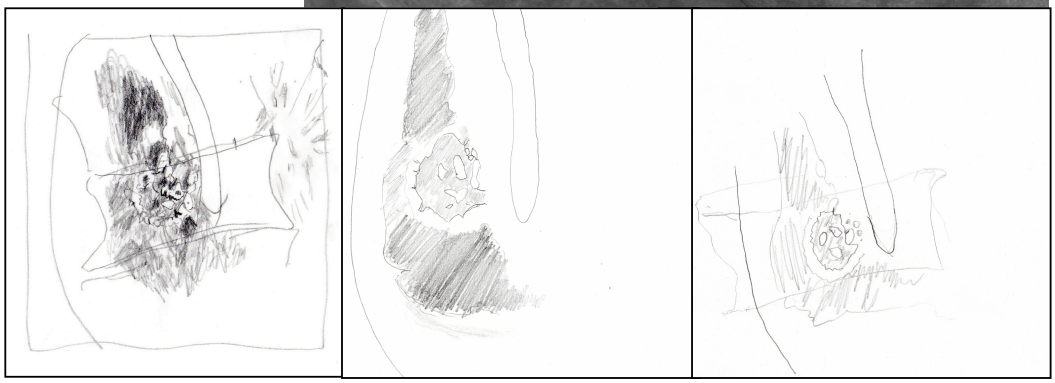
右画像のシェーマを出席者に挑戦してもらった。

前庭部後壁小弯側の 0-Ⅱc 病変。

tub1>tub2,sig(muc)、T1(M)

特徴は顆粒状の周堤隆起と鋸歯状の辺縁。また、陥凹面の小弯側にある大小不同の顆粒像。これらの特徴を捉えたシェーマは描けたでしょうか。

右に当日描かれたシェーマを示します。



第52回　南勢地区消化管撮影技術研究会

報告　　山本　憲一

日　　時　　2014年6月26日　木曜日　18時30分

場　　所　　市立伊勢総合病院　　2階　講堂

参加人数　　32名

内　　容

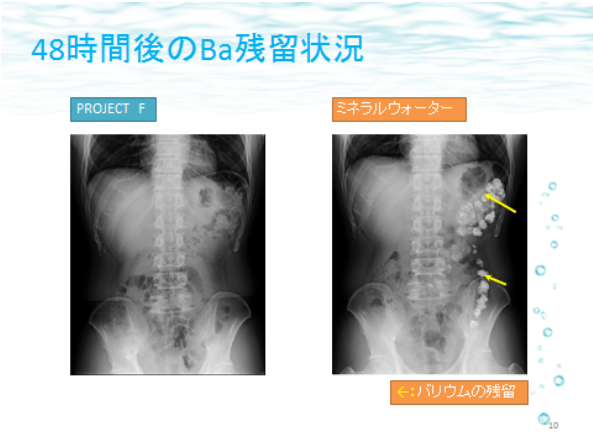
＊情報提供　『検査後の水分摂取について』

伏見製薬　辻村　真一

胃X線検査におけるバリウム服用後の副作用については、消化管内で生じるものが多く、軽微から重篤なものまで、副作用が報告されている。
重篤な副作用ではショック・アナフィラキシー症状や腸閉塞・消化管穿孔・腹膜炎などがあります。
　その他の副作用として排便困難・便秘などバリウム排便の遅延による症状は時として重大な副作用となることが頻度は少ないが存在する。

＊難消化性デキストリン(食物繊維)を含んだ清涼飲料水：PROJECT F
危機管理対策としてバリウムメーカーからの提案とし開発・販売されています。
・バリウム服用後の水分補給に食物繊維（Fiber）を含んだ清涼飲料水
・飲料水から食物繊維を簡単に補給し不足しがちな食物繊維の補充に最適

バリウム服用後の水分補給をPROJECT Fとミネラルウオーターで行い、消化管内のバリウムの残留状況を比較し、腹部X線単純撮影で確認しました。
PROJECT Fは消化管穿孔の危機管理として十分に効果があるということがわかりました。
バリウム服用後の消化管内の副作用についてはバリウムを残留・滞留させないことが重要となる。水分補給は、バリウム残留・滞留の対策として周知の事実であるが、食物繊維を加えた清涼飲料水「PROJECT F」は、さらに有用と考える。



栄養成分

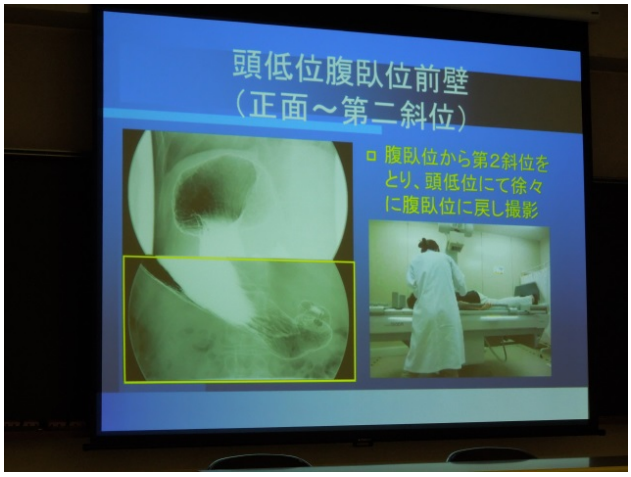
分析試験項目	結果
水分	98.2g／100g
たんぱく質	0.1g／100g未満
脂質	0.1g／100g未満
灰分	0.1g／100g未満
糖質	0g／100g
食物繊維	1.8g／100g
エネルギー＊	4 kcal／100g
ナトリウム	1.2mg／100g

＊健康増進法の栄養表示基準において食品100ｇあたり5kcal未満なら0kcalと表示

＊施設ルーチン紹介：伊勢市立病院

大西　里佳

使用バリウム：ネオバルギンＥＨＤ　２００ｗ／ｖ％（4 種類の香りづけから選択自由）
発砲顆粒　　：５ｇ　ガスコン水で飲用する
食道撮影は上下 2 枚づつ連写する。撮影手順は基準撮影に準じた撮影に近い撮影ではありますが、立位・腹臥位充盈像などを加えた撮影で読影医の意向で加えているようです、圧迫は施設内の方針上行っていないようであります。
紹介では各撮影ごとのポイントなどを説明していただきました。



＊特別講演

『ＡＢＣ検診の実際とこれから』

四日市羽津医療センター
副院長　　木村　光政先生

当院、検診センターにおける胃癌症例は 20 年前と比べると明らかに減少している。しかし、検診センター依頼の内視鏡検査数は減少していない。

当施設の胃がん検診における癌発見率は低下していて、全国的にも発見率は 0.1%を下回ってきている。三重県は癌発見率が約 0.04%で全国ワースト４になる位低いということです。

最近の胃癌症例の内訳は年代別で 80 歳台は約 15%、70 歳代は約 40%、60 歳代は約 30%、50 歳代は約 10%、40 歳代以下では約 4%となっていて、数十年前と比較し胃癌発見年齢が 5 歳以上上がっているようで、がん発見は高齢者に移行しているため検診の対象などの見直しが必要であるということであります。

ピロリ菌感染の有無が癌発生に関与していることが裏付けられている

昨年、ピロリ除菌が保険適用になったことで今後の胃癌発生に大きな関連が予想され、今後の胃癌発見にも大きく関与していきます。

技師の教育・訓練により、通常の検診胃Ｘ線画像によりピロリ菌感染や萎縮粘膜であるかを判定することも出来るようになり得ると考えます。

その中で技師が出来得る“これからの胃がん検診”を改めて考えていく必要があるのではないかと考えました。

世話人　　：　　山本　憲一
吉田　博美
向井　恭祐

次回は　10 月 30 日（木）

松阪中央総合病院にて開催予定

平成26年度　三重消化器画像研究会

開 催 日　：　平成 25 年 7 月 5 日（土）14:00 から 18:30
会　　場　：　四日市社会保険病院健康管理センター４F 講堂
参加人数　：　62 名
１）　基調講演１『この症例“もしかして”と思う時のために　』
講師：独立行政法人地域医療機能推進機構東京山手医療センター奥田 圭二　先生
２）　基調講演２『最新、側面変形の論理的考え方：食道がんのＸ線診断を通して』
講師：アジュール竹芝総合健診センター　所長　八巻 悟郎　先生
３）　対戦型症例検討会
司会：三重消化器画像研究会　代表　西川　孝　先生
ジャッジメント：八巻 悟郎　先生　奥田 圭二　先生　練馬区医師会　埋橋 喜次　先生
選手：愛知県消化器撮影技術研究会　石黒 徹也 先生　小嶋 裕典　先生　大島 暑四　先生
三重北勢消化器画像研究会　町田良典先生　伊藤　誠　先生　村田 浩毅 先生

平成 26 年度の三重消化器画像研究会講演会を上記日程にて開催した。三重消化器画像研究会は故江原功先生（元三重県放射線技師会長）によって昭和 59 年に発足した研究会であり、三重県の研究会としては最も歴史の古い研究会である。

今回の研究会講演会は、参加者数も 62 名と多くの先生方に参加頂き、感心の深さを図ることの出来た講演会であった。

恐らく、参加者のほとんどが今まで経験したことの無い症例を目の当たりにして、世の中にこんなものがあるのかと思った事と思う。何時、誰がどんな症例に巡り合えても今回の症例は記憶に残るものと思われる。

一方、症例検討会は愛知県と三重県のプライドと意地を掛けた熱戦が繰り広げられた、今回、辛くも三重が勝利したが紙一重と行ったところか？

因み、本症例検討会のルールは以下の通りである。

１）症例の提示

症例提示は愛知消化器撮影技術研究会が用意した症例を、北勢消化器画像研究会が読影し、北勢消化器画像研究会が用意した症例を愛知消化器撮影技術研究会が読影する。

２）先攻後攻

症例提示の順は、愛知消化器撮影技術研究会および北勢消化器画像研究会の代表によるジャンケンにて症例提示の順を決める。

3）症例提示者

対戦読影に際して症例提示は互いの代表がこれを行い、読影側は出場者 3 名を選出し、研究会としての統一した結論（相談時間 4 分）を以って代表者が解答を行う。但し、解答にあたっては説明を4分以内に行い、画像上から読み取れる所見を述べた後に結論（病名並びに進行度（深達度）、病変の大きさ、病変の正確な範囲や境界、組織型等の質的診断）を 2 分以内にまとめて述べる。

読影の順序や手順は通常の症例検討会と同じとしＸ線写真を読影したのちに、内視鏡、マクロ、ミクロに付いては講師による解説とする。

4）判定方法

審判員にジャッジは、症例提示者の写真の質、読影者側の解答等を鑑み、講師である八巻悟郎先生と奥田圭二先生による判定ジャジメントとする。

よって相手方に読影の難しい症例を提示し対戦相手の減点を目指す戦略を取るか？
読影は典型例であるが写真の表現力での評価加点を目指す戦略を取るかは互いの研究会の方針で良い。

以上

報告者
三重消化器画像研究会代表　西川　孝

第21回　三重県放射線技師超音波研究会

三重県立総合医療センター
安本　浩二

場所：三重県立総合医療センター　７階講堂
日時：平成 26 年 8 月 30 日（土）
内容；肝細胞癌について
　　肝細胞癌とは
　　講師：岡波総合病院　放射線科　界外忠之先生
　　ＣＴ検査
　　講師：鈴鹿回生病院　放射線課　藤原　徹先生
　　ＭＲＩ検査
　　講師：伊勢赤十字病院　放射線技術科　林　奈緒子先生
　　超音波検査
　　講師：名鉄病院　放射線科　伊藤　将倫先生

平成 26 年 8 月 30 日に三重県立総合医療センターにて第 21 回三重県放射線技師超音波研究会が開催されました。

今回の三重県放射線技師超音波研究会では、肝細胞癌について超音波検査のみでなく、各種モダリティでの評価方法などを講師の先生方にご講演していただきました。

まず、界外忠之先生に「肝細胞癌とは」ということでご講演いただきました。どんなモダリティであっても、肝細胞癌について知っていないとよりよい画像を提供することは困難であり、まずはその病態の理解が重要で、今回の講演では、肝細胞癌の発生機序について、ウイルスの違いによる遺伝子の変化や血管新生による腫瘍血管新生の成り立ちについて解りやすく解説いただきました。

次に、藤原　徹先生に「CT 検査」として肝細胞癌を鑑別するにあたってのダイナミックＣＴ撮影における TDC や撮影タイミングの考え方を中心に、肝腫瘍性疾患の画像評価についてのお話をいただきました。

林　奈緒子先生には「MRI 検査」として肝腫瘤を評価するにあたり MRI の撮像方法の違いによる肝腫瘤の描出画像の特徴や、MRI 造影剤の特徴や造影剤の違いによる描出画像の違いなどを中心にお教えいただきました。

最後に、伊藤　将倫先生に「超音波検査」として、肝細胞癌の手術にあたって診療側の望む所見や RFA 治療における超音波検査のコツなど、治療に直結する超音波検査時のポイントや所見記載の注意点などを中心に講演をいただきました。

今回の研究会にご参加いただいた皆様にアンケートを実施しましたが、１つの疾患をマルチモダリティで考えていく講演内容は非常に好評でした。

今後も、このような内容で三重県放射線技師超音波研究会を行っていき、超音波検査に携わっている技師さんだけでなく、いろんなモダリティに携わっている技師にも興味を持って参加いただけるような研究会にしていきたいと思います。

第77回　北勢消化器画像研究会

代表世話人　町田 良典

場　所　：みたき総合病院　1階多目的ホール
日　時　：平成26年8月30日（土）
参加人数：22名
内　容　：
　1）講義　『技術部門B検定　重要項目100のキーワード　造影剤・撮影機器』
　　講師：鈴鹿回生病院　　町田 良典
　2）講義　『技術部門B検定　重要項目100のキーワード　解剖・一般常識』
　　講師：みたき総合病院　村田 浩毅
　3）講義　『技術部門B検定　重要項目100のキーワード　撮影・読影・病理』
　　講師：四日市羽津医療センター　伊藤 誠
　4）症例検討
　　症例提供：四日市羽津医療センター　杉田 和久

以下、座長集約。

『技術部門B検定　重要項目100のキーワード　造影剤・撮影機器』
☆造影剤
●硫酸バリウム：化学式：$BaSO_4$ 、分子量：233.39 、結晶系：斜方晶系、板状・柱状晶 、
性状：白色粉末、無味無臭 、比重：4.47～4.50 、融点：1,580℃ 、
溶解度：水 0.22mg/100ml(18℃)　塩酸 6mg/100ml(煮沸で一部溶解)
●水溶性造影剤：ヨード化合物(ガストログラフィン・ウログラフィン、他)
分子式：$C_{11}H_9I_3N_2O_4$ 、分子量：613.91
性状：無色～微黄色澄明な液体、わずかな粘性、光により徐々に着色
浸透圧比：約9(高張液)：下痢、誤嚥による呼吸困難・肺水腫
●禁忌：硫酸バリウム：消化管穿孔又はその疑いのある患者、消化管に急性出血のある患者
消化管の閉塞又はその疑いのある患者、全身衰弱の強い患者
硫酸バリウム製剤に対し、過敏症の既往歴のある患者
ガストログラフィン：ヨード又はヨード造影剤に過敏症の既往歴のある患者
☆発泡剤
●主成分：酒石酸 $C_4H_6O_6$、炭酸水素ナトリウム $NaHCO_3$
反応式：$C_4H_6O_6 + 2NaHCO_3 \rightarrow Na_2C_4H_4O_6 + 2CO_2 + 2H_2O$
$NaHCO_3 + HCl$(胃液) $\rightarrow NaCl + CO_2 + H_2O$
●反応速度：Baより純水、服用の水量が多いほど、温度が高いほど、反応速度は速い
●禁忌：消化管の穿孔又はその疑いのある患者、消化管に急性出血のある患者
☆撮影装置
●X線透視診断装置(旧一般的名称)は平成17年4月施行の薬事法により、下記に指定された。
管理医療機器(クラスⅡ)：人の生命の危険又は重大な機能障害に直結する可能性は低いもの
特定保守管理医療機器：保守点検、修理その他の管理に専門的な知識及び技能を必要とするもの
設置管理医療機器：設置にあたり組み立てが必要であり、保健衛生上の危害の発生を防止するため、組み立てに係わる管理が必要なもの
●保守点検：医療機関における医療機器の「性能維持と安全性確保」は、医療法施行規則等により

施設が主体となって行う業務とされている。「保守点検」とは清掃、校正、消耗部品等の交換等を指し、オーバーホールは含まれない。(健康政策局長通知第 263 号)、修理にはオーバーホールが含まれるとされている。(薬務局長通知第 600 号)

●I.I. DR：入力蛍光面：CsI:Na 、輝度増倍率：(像の拡大率の逆数)^2×陽極電圧
出力蛍光面：ZnCdS:Ag
特徴：経時的な輝度の低下・ムラ・シミ、周辺部の歪み、視野の大きさによる解像度の変化

●FPD：直接変換方式：a-Se(アモルファスセレン) 、間接変換方式：CsI
特徴：視野が広い、像の歪みが極めて少ない、高解像度、動画の追従性が悪い、
キャリブレーション・温度・湿度の管理、広いダイナミックレンジ

『技術部門 B 検定　重要項目 100 のキーワード　解剖・一般常識』

食道：長さ 25 ㎝、直径 2cm、第 6 頸椎から第 7 胸椎
生理的狭窄部：①輪状軟骨･･･C6-7、②大動脈弓と左気管支･･･Th4-5 、③横隔膜･･･Th10-11

胃：噴門 第 11 胸椎、幽門 第 1 腰椎、小弯 15cm、大弯 45cm

胃の区分:食道胃接合部～幽門輪までの小彎側と大彎側をそれぞれ 3 等分した Upper:Middle:Lower の 3 領域区分と、断面区分で前壁：Anterior Wall、後壁：Posterior Wall、小彎：Lesser curvature、大彎：Greater curvature で、病変などの占拠部位を表す。

胃壁の構造：粘膜層：粘膜 M および粘膜筋板 MM、粘膜下層：SM(膜下組織(下層)には血管・リンパ管・神経が豊富に存在)、固有筋層：MP(斜走筋・輪走筋・縦走筋)、漿膜下層：SS、漿膜：S

噴門部粘膜の固有腺：噴門腺：深部が内分泌細胞である噴門腺細胞
胃体部粘膜　　：胃底腺：副細胞・壁細胞・主細胞
幽門部粘膜　　：幽門腺：幽門腺細胞・内分泌細胞

『技術部門 B 検定　重要項目 100 のキーワード　撮影・読影・病理』

基準撮影法のコンセプト：手技が簡明で、診断に必要な最低限の画質が得られる。
精度管理の基盤となり成果を期待できる。

基準撮影法：X 線検診の精度向上を目的に、造影剤や発泡剤の種類・量をはじめ、撮影手順と撮影体位を基準化した撮影法。

基準撮影体位(像)：基準撮影法において規定された撮影体位(像)。

任意撮影法：医療機関ないし撮影者が、個々の考えに基づいて採用している撮影法。

任意撮影体位(像)：基準撮影法において規定されていない撮影体位(像)

追加撮影法：基準撮影体位(像)、任意撮影体位(像)とは別に病変粘膜や健常粘膜の X 線所見をより明確に表す目的で行われる撮影法。

追加撮影像：追加撮影により撮影された像

基準撮影法 1

背臥位二重造影正面位　　標的部位：体部から幽門部の後壁
背臥位二重造影第 1 斜位　　標的部位：体部(大彎寄り)から幽門部(小彎寄り)の後壁
背臥位二重造影第 2 斜位　　標的部位：体部(小彎寄り)から幽門部(大彎寄り)の後壁
腹臥位二重造影正面位(下部前壁　頭低位)　　標的部位：体中部から幽門部の前壁
腹臥位二重造影第 1 斜位(上部前壁)　　標的部位：噴門部小彎から胃上部前壁
右側臥位二重造影(胃上部)　　標的部位：噴門部小彎を中心とする前後壁
背臥位二重造影第 2 斜位　　標的部位：体上部を中心とする小彎寄り後壁
立位二重造影第 1 斜位　　標的部位：胃上部大彎を中心とする前後壁

【開催案内】

第31回　三重乳腺勉強会

拝啓

貴院ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素は本勉強会の運営にあたりご支援、ご協力を賜り厚くお礼申しあげます。

さて、第 31 回三重乳腺勉強会を下記のとおり開催することになりました。今回はマンモグラフィ技術講習会にむけて、基本的内容について皆様で勉強したいと思います。尚、当日の配布資料はありませんので各自、筆記用具およびメモ用紙のご準備をお願いいたします。また昼食につきましては、各自でご用意下さい。　多くの方の参加をお待ちしております。

敬具

記

１）　日時：平成 26 年 10 月 26 日（日）10 時 00 分～　（受付　9 時 30 分～）

２）　会場：鈴鹿中央総合病院　2 階講義室
〒513-8630　鈴鹿市安塚町山之花 1275-53

３）　参加費：500 円

４）　内容（プログラム）

09：30～	受付開始		
10：00～10：10	平成 25 年度　会計担当者より会計報告		
10：10～10：50	講演１：「検診について」	桑名東医療センター	近藤　偲瑞子　先生
10：55～11：35	講演 2：「機器管理について」	伊勢赤十字病院	林　奈緒子　先生
11：40～12：20	講演 3：「物理について」	市立伊勢総合病院	水井　江美　先生
12：20～13：20	休憩		
13：20～14：00	講演 4：「写真学について」	三重大学医学部附属病院	池田　華奈子　先生
14：05～14：45	講演 5：「デジタルについて」	市立四日市病院	稲垣　由美　先生

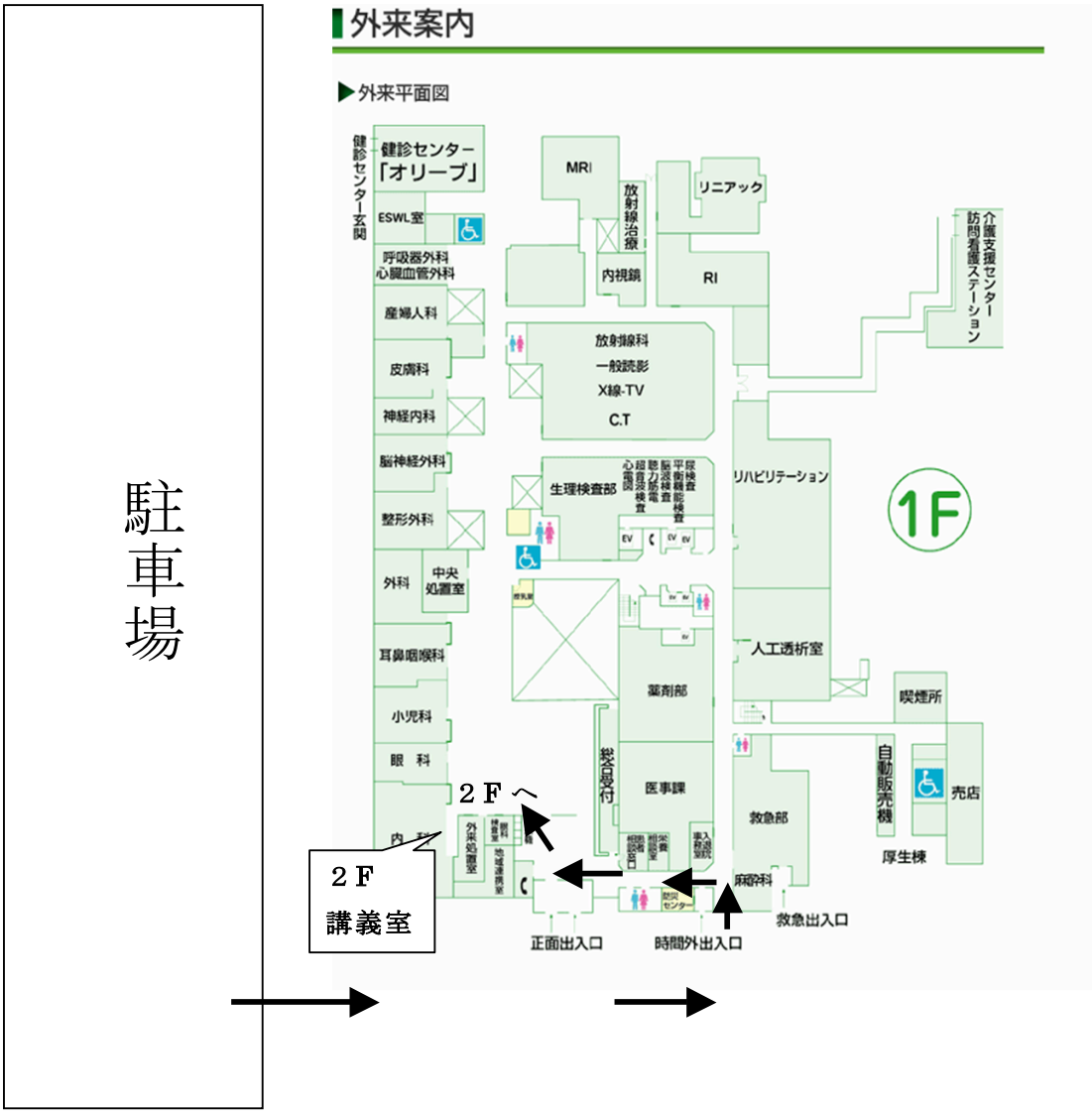
当番世話人　三重大学医学部附属病院　前田、池田、磯嶋
三重県健康管理事業センター　四竈、清水

事務局　桑名東医療センター　近藤

事務局よりお願い

当勉強会では、案内の送付方法（貴施設 e-mail・住所等）の登録を勉強会アンケートに記載していただくようお願いしております。郵送費の節約等の関係で、貴施設 e-mail の登録を推奨しています。登録していただく番号等を控えてご持参いただきますようお願いします。

会場のご案内



*当日は診療休日になります。正面出入口は閉鎖しておりますので、時間外出入口をご利用下さい。
*尚、駐車場をご利用の方はお手数ですが、駐車券を会場受付までお持ち下さい。

第53回　南勢消化器撮影技術研究会

日　　時　　2014 年 10 月 30 日　木曜日　18 時 30 分

場　　所　　厚生連松阪中央総合病院

2 階　多目的ホール

参加費（会場整理費）：500 円

内　　容

18：30～　＊情報提供 CTC 炭酸ガス送気装置「エニマ CO2」体験会

堀井薬品工業(株)第二医薬情報部

長谷川　淳

＊CTC 動画を見てみよう

医療法人　大西病院

中谷　幸広

＊症例検討

アドバイザー

医療法人博仁会　村瀬病院　内科

胃・大腸センター長　吉村　平　先生

世話人　：　山本　憲一

吉田　博美

向井　恭祐

＊日本消化器がん検診学会　胃がん検診専門技師　更新単位付与

＊消化管撮影に興味がある方、どなた様でも参加して頂けます

後援：（一般社団法人）三重県診療放射線技師会

第11回　全国X線撮影技術読影研究会

謹啓　先生方には益々のご健勝のこととお喜び申し上げます．さて，このたび，下記要領にて「第 11 回 全国 X 線撮影技術読影研究会」（共催：第 9 回骨・関節単純 X 線撮影を熱く語る集い）を開催することとなりました．ご多忙中とは存じますが，万障お繰り合わせの上，ご出席たまわりますようよろしくお願い申し上げます．

謹白

記

日　　時：平成 26 年 11 月 22 日（土）10:50～18:30（10:00 より受付）・23 日（日・祝）9:00～12:30

会　　場：鈴鹿医療科学大学　千代崎キャンパス　B 講義棟 1 階 3513 講義室（三重県鈴鹿市岸岡町 1001-1）

会　　費：2,000 円　学生無料（要学生証）　情報交換会：6,000 円（ホテルグリーンパーク鈴鹿）

プログラム：**11 月 22 日（土）**

11:00～教育講演 1「腹部病態学と画像読影」　元岐阜医療科学大学教授　市川　秀男

11:50～教育講演 2「骨折を知ろう！」　元社団久和会立花病院　矢野　雅昭

12:40～教育講演 3「頭の中に入れておきたい撮影技術」　元九州大学医学部附属病院　榊　和宏

13:30～教育講演 4「X 線撮影技術の組み立ての基礎からみた X 線撮影法の見直し」

－ 撮影法に共通なきまりと組み立て設定理論 －

元日本医科大学千葉北総病院　川村　義彦

14:20～教育講演 5「肺癌と肺炎の読影」　愛媛県立中央病院　原　正和

15:10～教育講演 6「胸部 DR 撮影に用いる適正な撮影条件の提案」　京都医療科学大学　小田　敍弘

16:00～テクニカルワークショップ　テーマ:「非荷重関節と荷重関節　―診断に有用な撮影法の選択―」

「肩関節 2 題、肘関節、全脊椎、腰椎、膝関節・足関節・足部」

11 月 23 日（日・祝）

9:00～ポスター口述発表

10:00～教育講演 7「どこまで使う？トモシンセシス」　日本医科大学千葉北総病院　丸山　智之

10:50～教育講演 8「骨盤骨折を読む」　今治第一病院　飯田　譲次

11:40～教育講演 9「股関節撮影技術と正常 X 線解剖を読む！」　奈良県立医科大学附属病院　安藤　英次

11 月 22 日（土）, 23 日（日・祝）　ポスター展示

参 加 申 込：当日登録は混雑が予想されますので事前登録をお願いします. 件名を参加登録とし, お名前（ふりがな）所属施設, 情報交換会参加の有無を記載のうえ, E-mail namba3800@gmail.com（難波）までお願いします.

お問い合わせ：上記アドレスまでお願いします.　なお会場へのお問い合わせはご遠慮下さい.

ホームページ：http://www4.ocn.ne.jp/~etrt/zenotic.htm

認 定 単 位：日本救急撮影技師認定機構 2 ポイント付与

そ　の　他：ランチョンセミナー等, 昼食の準備はございません.

世　話　人：難波　一能（とうかい整形外科 かわげ）

地 区 世 話 人：安田　鋭介（鈴鹿医療科学大学）　山田　隆憲（鈴鹿回生病院）

主　　催：全国 X 線撮影技術読影研究会（代表世話人　市川　秀男）

後　　援：公益社団法人　日本診療放射線技師会，愛知県診療放射線技師会，岐阜県診療放射線技師会
一般社団法人　三重県診療放射線技師会

共　　催：第 9 回骨・関節単純 X 線撮影を熱く語る集い（三重県診療放射線技師会）

【議事録】

第64回　定期総会議事録

1　招集年月日　　平成26年4月30日

2　開催日時及び場所

（1）開催日時　　平成26年5月31日（土）　14時00分から15時05分まで

（2）開催場所　　津市江戸橋2-174　三重大学医学部臨床講義棟　第2講義室

3　会員総数　　484人

4　出席会員数　　293人　　内訳　本人出席　58人　　委任状出席　235人

5　総会に出席した役員等の氏名

（1）出席理事　　山田隆憲、中西左登志、界外忠之、浅沼源示、石河真人、村上元文、北林厚生、落合哲也、山本憲一、武藤裕衣、奥村尚人、難波一能、伊藤守弘、森田英稔

（2）出席監事　　牧　浩昭

6　総会の議長の氏名　吉田亘孝

7　議事録の作成に係る職務を行った理事の氏名　奥村尚人

8　開会の辞

本年お亡くなりになられた会員、長崎　禎様、加藤　進様のご冥福をお祈りして黙祷。

界外副会長が、第64回一般社団法人三重県診療放射線技師会総会の開会を宣言した。

9　会長挨拶

山田会長の挨拶があった。

10　勤続30年表彰受賞者紹介

界外副会長から受賞者　落合嘉平さん、吉田亘孝さん、上田健司さん、白子和也さん、西川　孝さん、土田　修さんの紹介があった。

11　議長選出

議長の選出を諮ったところ執行部一任を得たので、執行部案として、吉田亘孝さんが選出された。

12　議長登壇

続いて議長より挨拶の後、

13　資格審査

会員総数484名、出席会員数293名（内訳）本人出席58名、委任状出席235名、午後14時現在の委任状を含む出席者数が293名であり、定款第17条により本総会の成立を宣言した。

続いて、会場整理係を、松阪中央総合病院の山本先生及び鈴鹿医療科学大学の武藤先生、議事録署名人2名は、山田会長及び鈴鹿中央総合病院の落合先生を指名し議案の審議に入った。

14　議事の報告結果及び議案別決議の経過

【報告事項】

報告1号　平成25年度事業経過・庶務・監査について

山田会長より平成25年度事業経過報告書の内容につき報告があった。

中西副会長より平成25年度庶務報告書の内容につき報告があった。

牧監事より監査報告書並びに平成25年度監査報告書の内容につき報告があった。

議長より会場に意見を諮ったところ意見はなかった。

報告２号　平成26年度事業計画・予算について

山田会長より平成26年度事業計画書の内容につき報告があった。

石河業務理事より平成26年度予算書の内容につき報告があった。

議長より会場に意見を諮ったところ意見はなかった。

以上をもって報告事項の終了宣言し、次に決議事項の審議に入った。

【決議事項】

第１号議案　貸借対照表及び正味財産増減計算書の承認について

議長は、執行部に、貸借対照表及び正味財産増減計算書について説明を求めた。

石河業務理事より貸借対照表及び正味財産増減計算書の内容につき詳細な説明があった。

議長より、会場に質疑を諮ったところ意見はなかった。

続いて議長は、これを議場に諮ったところ、満場異議なく決議された。

第２号議案　役員の選挙について

議長は、選挙管理委員会に選挙結果について説明を求めた。

後藤委員から一般社団法人三重県診療放射線技師会選挙管理委員会報告書の内容につき説明があり無投票になった。

議長より、会場に質疑を諮ったところ意見はなかった。

議長は、定款第20条2項により会長・副会長及び常務理事の選定は理事会の決議である旨の説明を行い、本会会員以外の監事についての必要性等について理事会で検討のうえで報告を行うよう求め、議事進行の中断を宣言した。

【休憩】

議長は、14時55分に総会の再開を宣言した。

議長は、執行部に対し理事会での結果の報告を求めた。

山田新会長より、会長山田隆憲、副会長中西左登志、界外忠之、業務理事村上謙二、浅沼源示、山田剛、石河真人が選定された旨の報告があった。

続いて、定款第12条2項の監事の選任についての説明を行い、新定款規程にない本会会員以外の監事は理事会において必要であると認め、引き続き山中会計士さんが選出したい旨の報告があった。

議長は、山中会計士さんの監事選任について、会場に意見を諮ったところ意見はなかった。

議長は、これを議場に諮ったところ満場異議なく決議された。

以上をもって決議事項の終了を宣言し、その他事項に入った。

【その他事項】

その他事項はなかった。

議長は、予定の議案はすべて決議され滞りなく審議を終えたことを宣言し、総会役員を解任した。

15　議長降壇

16　新役員の挨拶　山田新会長及び新理事並びに新監事の挨拶

17　閉会の辞

界外副会長が、第 64 回一般社団法人三重県診療放射線技師会総会の閉会を宣言した。

以上をもって本日の議案全部の審議を終了し、午後 3 時 05 分閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録をつくり、議長及び議事録署名人がこれに記名押印する。

以上　上記のとおり原本と相違ないことを証明する。

平成 26 年 5 月 31 日

一般社団法人三重県診療放射線技師会　会長　山田 隆憲

平成26年度　第1回　理事会議事録

1 開催日時　　平成 26 年 5 月 31 日（土）　　14:35～

2 開催場所　　三重大学医学部臨床講義棟　第 1 講義室　津市江戸橋 2－174

3 出席者氏名　山田・中西・界外・浅沼・石河・北林・白藤・森田・落合・山本・武藤・奥村・丹羽・難波・伊藤理事、荻野・牧監事

4 進行等

定款第 30 条により会長が議長となるが会長選出の理事会であるため、会長が決まるまで界外理事が進行する旨の説明があり開会を宣言した。

理事総数 18 名のうち 15 名の出席を得たので、適法に成立する旨を述べ、議事録の作成に係る職務を行う石河理事を指名し、議事の審議に入った。

5 議事

【決議事項】

(1) 会長の選定

会長に立候補される方を伺ったところ山田隆憲氏 1 名の立候補があり、これを諮ったところ、満場異議なく決議された。

定款により会長が議長となった。

(2) 議長交代

山田会長（議長）から、は副会長及び業務理事は、例年どおり会長指名とする旨の説明があり承認された。

(3) 副会長・業務理事の選定

副会長に中西左登志さんと界外忠之さん、業務理事には村上謙二さん、浅沼源示さん、山田剛さん、石河真人さんが指名され、これを諮ったところ、満場異議なく決議された。

議長は以上をもって決議事項の終了を宣した。

【承認事項】

続いて、本会会員以外の監事についての説明があり、外部監事の必要性が承認され、引き続き山中会計士さんにお願いする旨が承認された。

監事の選任については、総会での決議事項のため総会に諮る旨の説明と会長山田隆憲、副会長中西左登志、界外忠之、業務理事村上謙二、浅沼源示、山田剛、石河真人については、総会で報告する旨の説明があった。

以上をもって本日の議案全部の審議を終了し、午後 2 時 50 分閉会した。

以上　上記のとおり原本と相違ないことを証明する。

平成 26 年 6 月　1 日

一般社団法人三重県診療放射線技師会　　会長　　山田　隆憲

平成26年度　第2回　理事会議事録

1.　開催日時　平成 26 年 6 月 22 日（木）　18:40～

2.　開催場所　三重大学医学部附属病院　病態医科学研究棟８階　中会議室
〒514-8507　津市江戸橋 2-174

3.　出席者氏名　理事：山田・中西・界外・石河・浅沼・山田・北林・奥村・白藤・落合・武藤・難波・森田・丹羽・大川
監事：荻野・牧

4.　進行等
定款第 30 条により山田会長が議長となり、開会を宣言した。
理事総数 18 名のうち 15 名の出席を得たので、適法に成立する旨を述べ、議事録の作成に係る職務を行う大川理事を指名し、議事の審議に入った。

5.　議事

【報告事項】

(1) 第 74 回公益社団法人　日本診療放射線技師会　定期総会の件
山田会長より、第 74 回公益社団法人　日本診療放射線技師会　定期総会の内容について、別紙資料により詳細な報告があった。

・ 中澤会長の挨拶の中で、今までグレーゾーンであった CT,MRI 検査時のインジェクターによる造影剤の投与、検査終了後の抜針止血、下部消化管の直腸の位置の確認、ネラトンチューブの挿入、Ｘ線健診車での胸部撮影時の医師の立ち会いを無くす、が、現在の通常国会で衆議院を通過し、参議院で審議中との報告があったとのこと。
（その後、参議院でも通過）

・ 質疑応答の中で、岐阜県内で東海学院大学が３年制短大を作る動きがある。日本診療放射線技師会としても反対してほしい。岐阜県と愛知県では臨床実習施設の指定を断る動きをしている。との報告があり、三重県も反対の方向を示すとのこと。
6/19(木)、中澤会長・佐野副会長・井戸前会長・安田岐阜会長と東海学院大学理事長と会談を行うとの事との報告あり。

(2) 今年度の目標・提案事項・企画等の件
①　山田会長：今年度の取り組み方針として
I.　日本診療放射線技師会方針に準じ、密に連携をとりながら活動する。
II.　他職能団体との交流を増やし、国民に対して診療放射線技師の認知・地位向上のために努力する。
III. 特に学術・教育・大会や研究会等の参集、福利厚生活動に力を注ぐ。
②　浅沼業務理事：今年度の取り組み目標として
I.　メールマガジンの登録拡大
II.　毎月１回以上のメールマガジン発行
などがあげられた。

(3) 中川正春衆議院議員との懇談会の件
山田会長より、衆議院議員中川正春氏と三重県診療放射線技師会との懇談会について経緯・日時・場所等の説明があった。

(4) 平成 26.27 年度　役員組織図の件

山田会長より、平成 26.27 年度の役員組織図について、別紙資料により報告があった。

また、新しく就任された白藤・丹羽・大川理事及び荻野監事の自己紹介があった。

(5) 平成 26 年 11 月 16 日(日)　第 2 回三重県診療放射線技師学術大会の件

界外副会長より､鈴鹿医療科学大学　千代崎キャンパスにて開催される　第 2 回三重県診療放射線技師学術大会について報告があり、演題・スタッフの協力の依頼があった。

(6) 平成 26 年 11 月 22 日(土)・23 日(日)　第 11 回全国Ｘ線撮影技術読影研究会

第 9 回骨・関節単純Ｘ線撮影を熱く語る集い　同時開催についての件

難波理事より、鈴鹿医療科学大学　千代崎キャンパスにて開催される　第 11 回全国Ｘ線撮影技術読影研究会についての説明・報告があった。

(7) その他

① 山田会長より、平成 28 年秋に予定している　三重県診療放射線技師会 65 周年記念式典について報告があった。

② 界外副会長より、済生会松阪総合病院　臨床検査山本技師長から「胸部・腹部一般撮影の読影について」の講演依頼のメールがあったと報告があり、読影については、診療放射線技師としての立場もあり、詳しく内容を確認後に相談することとなった。

【選任事項】

参与の選任について

山田会長より、別紙資料により参与 18 名の方々の紹介があり、これを議場に諮ったところ、満場異議なく選任された。

【承認事項】

(1) 新入会員の承認について

山田会長より、新入会員 17 名、転入会員 3 名の報告があり、これを議場に諮ったところ満場異議なく承認された。

また、白藤理事より、会員勧誘についての意見があった。

(2) 地域活動（分科会）の承認について

別紙資料により、三重 CT カンファレンスについて活動説明があり、地域活動（分科会）としての承認を議場に諮ったところ満場異議なく承認された 。

以上をもって本日の議案全部の審議を終了し、午後 8 時 45 分閉会した。

以上の決議を明確にするため、この議事録をつくり、出席理事及び出席監事がこれに記名押印する。

以上　上記のとおり原本と相違ないことを証明する。

平成 26 年 6 月 26 日

一般社団法人　三重県診療放射線技師会　山田　隆憲

【編集後記】

18号、19号台風が強烈な勢力で日本上陸と報道され身構えておりましたが、三重県には恐れていた程影響を残さずに去っていきました。

台風が去ったとたん肌寒くなりました。季節の変わり目で体調を崩しやすいですので、皆さんどうぞお気をつけください。

秋の学会シーズンに突入です。三重県診療放射線技師会関連の研究会にもぜひ足を運んでください。

平成26年度第1号のweb会誌を掲載します。

個人情報保護の観点から、今年度より会員情報を[会員専用ページ]に移行しました。

会員専用ページのログイン情報は、不定期に発送される会員への郵便物に同封予定です。

三重県診療放射線技師会　273号　Vol.65 No.1

発行日　2014年10月20日

発行所　〒514-0004　三重県津市栄町3丁目269　富士屋ビル2F

一般社団法人　三重県診療放射線技師会

TEL/FAX 059-225-1491

H.P.：http://mieart.jp

facebookページ：http://facebook.com/mieprefart

E-mail：contact@mieart.jp

発行人：山田　隆憲

制　作：三重県診療放射線技師会　技師会編集班